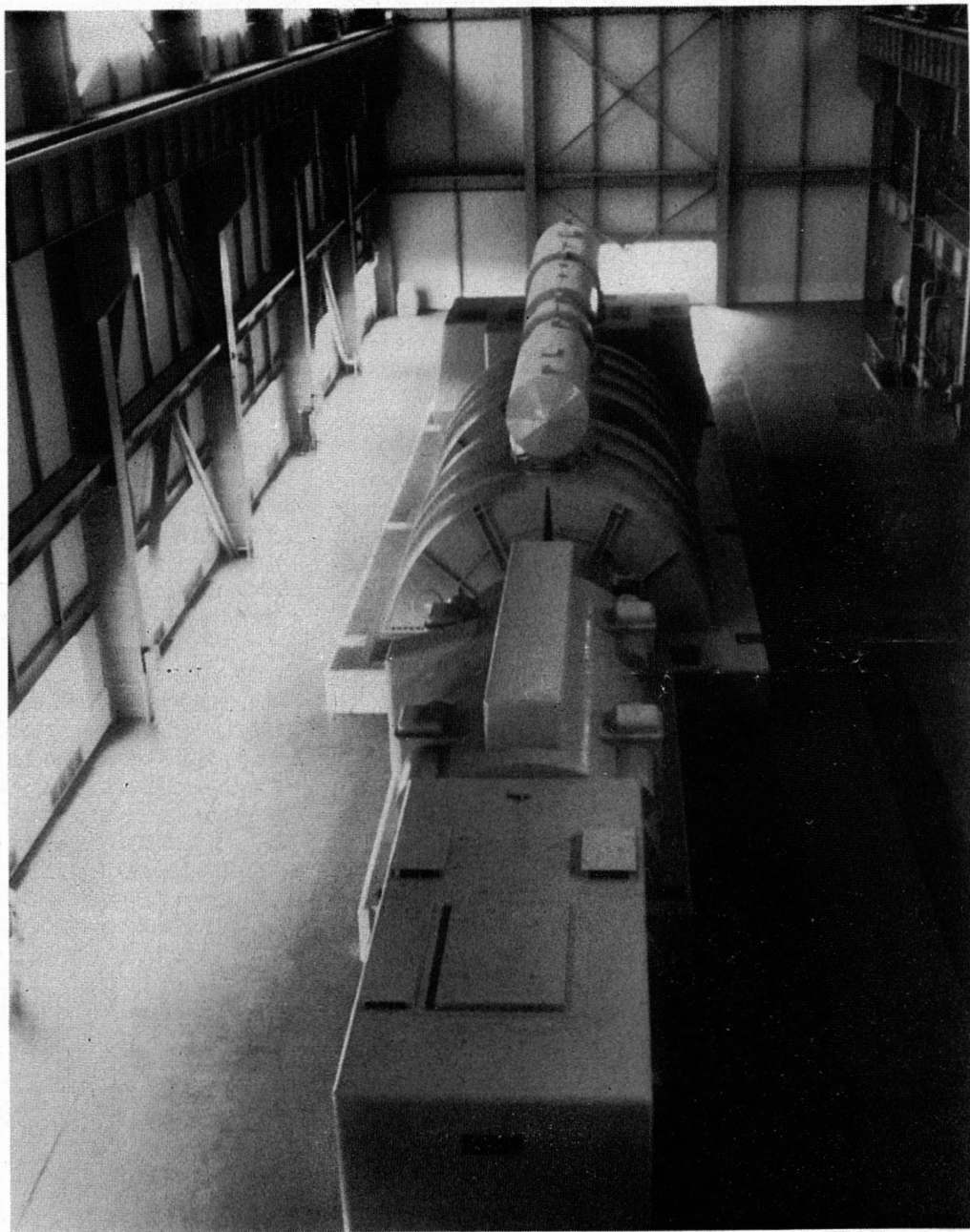


九州電力相浦新2号機営業運転開始

無事故無災害で工事終了



営業運転に入った50万KWタービン発電機

〔新相浦＝10月5日〕長崎県佐世保市光町に建設を進めてきた九州電力株式会社相浦発電所新2号機（出力50万KW）が完成し、10月1日営業運転に入った。

当社は、ボイラを三菱重工業株式会社長崎造船所、タービンを東芝電気工事株式会社からそれぞれ受注し、50年2月新相浦建設所を設置した。そして速水所長を総責任者に、山口、坂口、辻、坂本各所長代理の指揮で工事に取り組み、50年3月13日セパレーター揚げ、8月29日ボイラ水圧検査、11月20日タービン中間検査、51年3月4日火入れ式、4月15日通気式、4月26日初併列と順調に工事を消化し、その後試運転調整を行ってきた。

また、これと並行して行ってきた排煙脱硫装置の建設も終了した。

これは三菱重工業（株）長崎造船所から受注したもので、運転中の1号機および建設中の2号機双方に設置された。当社では、50年7月1日新相浦排煙作業所（葉山所長）を開設し、7月14日の1号立柱式から本格的な工事に入った。今年4月には1号の通煙を終え、6月16日には1、2号の据付工事完了式を行っている。

相浦新2号機建設および排煙工事

では、安全施工の徹底が図られ、無事故無災害で工事を終了したことは注目される。さる8月に行われた当社安全表彰で無災害優秀賞を受けたのをはじめ、3月の火入れ式、6月の排煙工事完了式、そして7月1日の国民安全の日と3度にわたって三菱重工業（株）長崎造船所から安全表彰を授与されている。

これは、所長以下、所員全員の安全作業に対する認識の高さを示すものであり、高く評価される。

主要機器概要

〔汽 缶〕

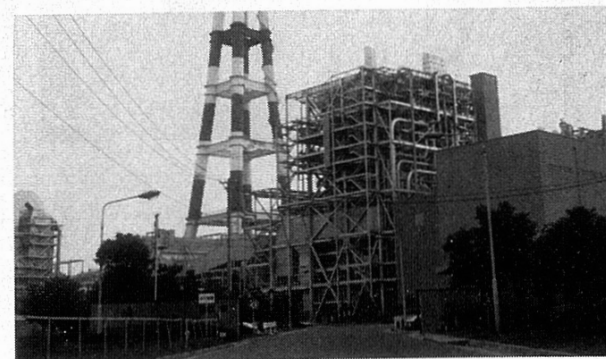
三菱スルザーCEコンバインドサーキュレーションボイラ 放射再熱分割炉型（屋外式）
蒸発量 1,720T/H
（三菱重工業株式会社）

〔汽 機〕

タンデム再熱再生式
出力 50万KW
回転数 3,600 r.p.m.
（東京芝浦電気株式会社）

〔排煙脱硫装置〕

湿式石灰石こう法
容量25万KW相当×2基
（三菱重工業株式会社）



相浦発電所遠景